

果樹カメムシ類情報第2号

令和6年5月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

チャバネアオカメムシのフェロモントラップの誘殺数はやや多い

1 令和6年のチャバネアオカメムシの誘殺数

果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシの豊田、幸田におけるフェロモントラップ誘殺数は図のとおりです。4月の第4半旬から第6半旬の誘殺数の合計は、豊田で23頭（昨年0頭、平年2.4頭）と過去10年で最も多く、幸田で30頭（昨年0頭、平年10.4頭）と過去10年で2番目に多い状況でした。

4月25日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと予測されており、果樹カメムシ類の飛来が多くなると予想されます。

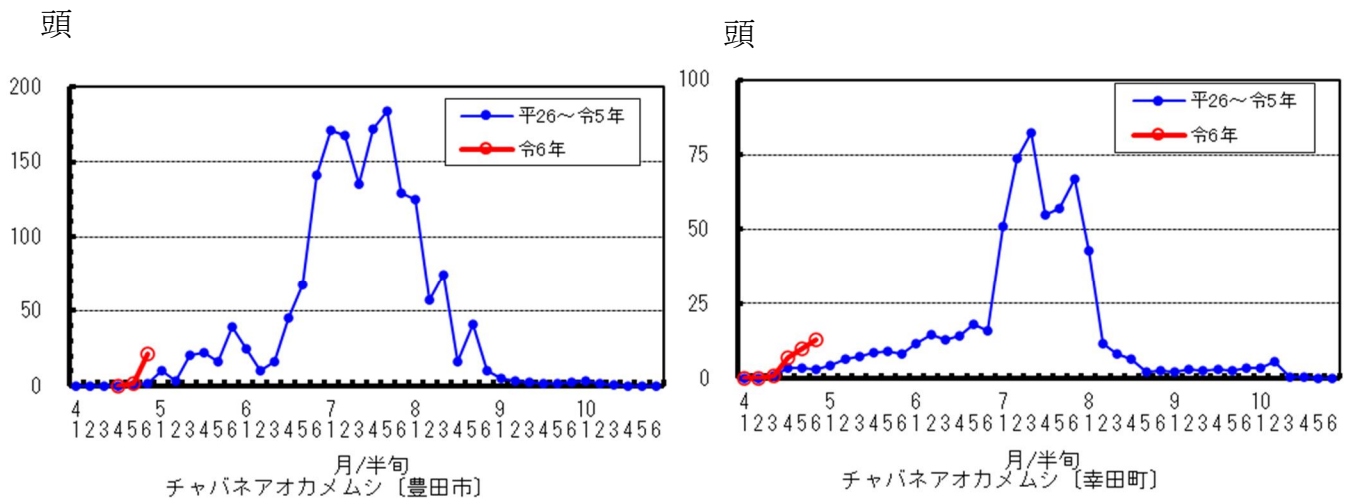


図 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

2 防除対策

果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きいので、ほ場での発生及び被害状況をよく観察し、適切に防除しましょう（表参照）。

表 カメムシ類に対する主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	使用回数	IRACコード
うめ	アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2回以内	4A
	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
	スカウトフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3A
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤(※)	収穫前日まで	3回以内	4A
もも	ダントツ水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	4A
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
	テルスターフロアブル	収穫前日まで	2回以内	3A
なし	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
	スカウトフロアブル	収穫前日まで	5回以内	3A
ぶどう	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	4A

※ うめに対するスタークル/アルバリン顆粒水溶剤の作物名は小粒核果類で登録

IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRAC コードの詳細は https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac03.pdf を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。